

河川事業の事後評価説明資料 〔庄川総合水系環境整備事業〕

平成２７年１２月

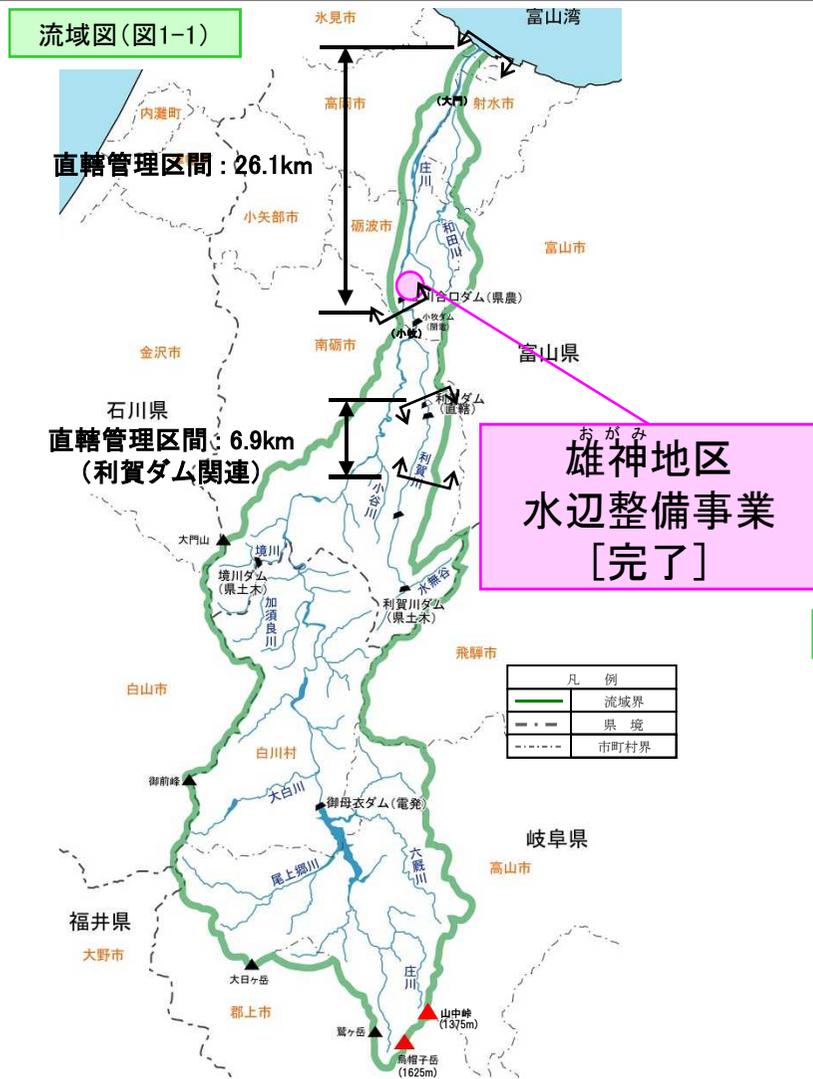
北陸地方整備局

目 次

1. 流域の概要	P	1
2. 事業概要	P	2
(1) 事業の経緯	P	2
(2) 整備内容	P	3
(3) 事業計画	P	4
(4) 事業効果	P	5
3. 事業の投資効果	P	6
4. 事業実施による環境の変化	P	8
5. 事業を巡る社会情勢等	P	8
6. 対応方針（原案）	P	9
参考資料	P	10

1. 流域の概要

- ・ 庄川は、その源を岐阜県高山市の烏帽子岳と山中峠に発し、岐阜県内で尾上郷川、六厩川、大白川等を合わせて北流し、富山県に入り南砺市小牧付近で利賀川を合わせたのち砺波平野に出て射水市大門で和田川を合わせて日本海に注ぐ（図1-1）。
- ・ 庄川総合水系環境整備事業では、水辺整備（1箇所）を実施した。



■庄川水系 流域の概要

- 流域面積 : 1,189km²
- 幹川流路延長 : 115km (源流：烏帽子岳、山中峠)
- 流域内市町村 : 7市1村

■庄川総合水系環境整備事業

事業区分	箇所	対象箇所の自治体
水辺整備	雄神地区	砺波市

事業の実施年度(図1-2)

平成20年度～平成26年度

国 : 平成21年度～平成22年度
自治体 : 平成20年度～平成26年度

事業区間		年度							
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
雄神地区水辺整備事業	国		■	■					
	自治体	■	■	■	■	■	■	■	■

↑
前回評価

↑
今回評価
(事後評価)

2. 事業概要

(1) 事業の経緯

- ・ 庄川の雄神地区周辺には、庄川温泉郷をはじめ多くの観光資源が分布している（図2-1）。
- ・ 本地区の活性化に資する拠点的な水辺空間の整備のニーズが高まり、砺波市より「雄神地区かわまちづくり」計画が申請され、平成21年5月に認定された。
- ・ 本計画に基づき、砺波市と連携しながら雄神地区において水辺整備事業を実施した。

雄神地区周辺状況(図2-1)



2. 事業概要

(2) 整備内容

- ・ 庄川の良い河川空間を利用し水辺の魅力を引き出すことで、地域住民の交流及び地域の活性化の拠点とするため、雄神地区において、庄川に相応しい親水空間を創造する水辺整備を実施する（図3-1、3-2、3-3）。
- ・ 整備にあたっては、「雄神地区かわまちづくり計画」（平成21年5月認定）に基づき、砺波市と連携しながら事業を推進し、全体施設が平成26年度に完成した（図3-1、3-2、3-3）。

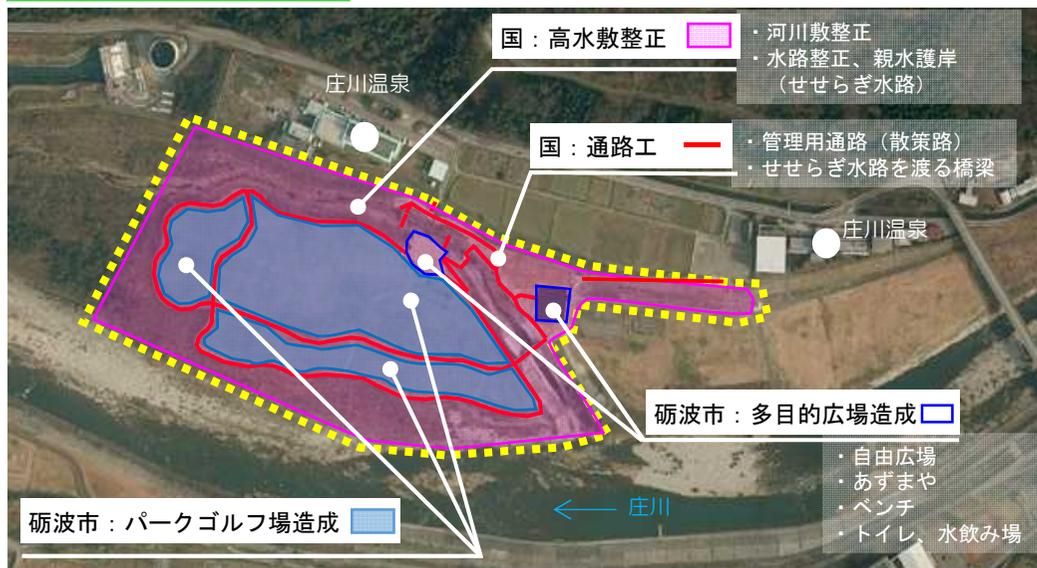
整備概要(図3-1)

	国土交通省 (環境整備事業)	砺波市	全体
全体事業費	約1.6億円	約2.4億円	約4.0億円
事業期間(年度)	H21~H22	H20~H26	H20~H26
整備内容	高水敷整正 通路工	パークゴルフ場造成 多目的広場造成	—

整備状況(図3-3)



整備内容平面図(図3-2)



せせらぎ水路を渡る橋梁

多目的広場

2. 事業概要

(3) 事業計画

・砺波市と連携しながら周辺の各種スポーツ施設や公園、緑地等の中核をなす空間として雄神地区の水辺空間を整備するとともに、既存施設との有機的なネットワークを図ることで観光や地域の活性化を図るものである(図4-1)。

事業計画(図4-1)

項目	事業計画	
	平成21年度評価時	今回評価時(事後評価)
目的	<p>砺波市は、庄川とともに歴史を刻み、庄川と深く結びついて発展してきた。現在では、庄川(庄川峡)が観光資源として成立し、近接して各種スポーツ施設や公園・緑地が配置され、多くの住民・観光客が訪れるなど日常的に利用される水辺となっている。これらの施設の中核をなす空間として雄神地区の水辺空間を整備することにより、既存施設と有機的に結びつけ観光や地域の活性化を図るものである。</p>	
事業期間	<p>平成20年度～平成25年度 (国土交通省(環境整備事業)：平成21年度～平成24年度) (砺波市：平成20年度～平成25年度)</p>	<p>平成20年度～平成26年度 (国土交通省(環境整備事業)：平成21年度～平成22年度) (砺波市：平成20年度～平成26年度)</p>
全体事業費	<p>全体：約4.0億円 (国土交通省(環境整備事業)：約2.0億円) (砺波市：約1.9億円)</p>	<p>全体：約4.0億円 (国土交通省(環境整備事業)：約1.6億円) (砺波市：約2.4億円)</p>
整備内容	<p>【国土交通省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高水敷整正 ・通路工 ・側帯工 <p>【砺波市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場造成 ・多目的広場造成 ・植栽工 	<p>【国土交通省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高水敷整正 ・通路工 <p>【砺波市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場造成 ・多目的広場造成

【変更理由】

事業期間：整備内容変更に伴い事業期間を短縮(国)、パークゴルフ場造成における芝の生育状況により事業期間を延伸(砺波市)

整備内容：砺波市の事業計画変更に伴う植栽工(砺波市)、側帯工(国)の取りやめ

事業費：側帯工の取りやめに伴う事業費の減(国)及び芝の生育状況による増(砺波市)

注：端数処理の関係で個別の事業費の合計と全体事業費が合わない。

2. 事業概要

(4) 事業効果

- ・ 県内で人気の高いパークゴルフ場（砺波市初となる施設）が平成27年8月にオープンし、市内外から多くの利用者が来訪しているとともに、地域の健康増進につながると期待されている（図5-1）。
- ・ 庄川温泉郷や庄川水記念公園等、既存施設や観光資源との有機的なネットワークにより相互利用を促進し、地域活性化に貢献することが期待されている（図5-2）。
- ・ 各種施設整備により、水辺への近づきやすさが向上し、地域資源として水辺空間利用の促進が図られている（図5-3）。
- ・ 自治体による適切な管理のもと、施設運営や定期的な維持管理が行われることから、今後も事業効果は十分に持続していくものと考えられる。

整備したパークゴルフ場の利用状況(図5-1)



オープン時(平成27年8月8日)

※翌日(8月9日)、第1回砺波市長杯パークゴルフ大会が開催



オープン2ヶ月後(平成27年10月上旬)

	8月	9月	10月	計
パークゴルフ場 利用者数	1,447人	2,186人	1,444人	5,077人
市内在住	941人	1,225人	846人	3,012人
市外より	506人	961人	598人	2,065人

※10月は10月15日現在



既存施設や観光資源とのネットワーク(図5-2)



水辺へ近づきやすい施設の整備(図5-3)

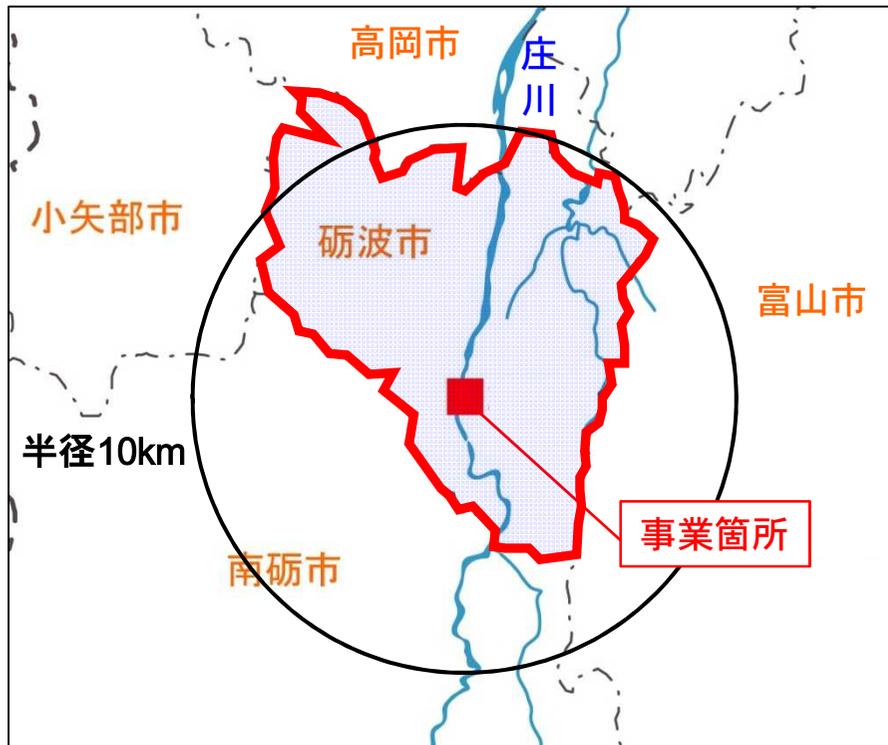


施設整備により水辺への近づきやすさが向上

3. 事業の投資効果

- ・ 便益の評価方法は事業の特性や既往実績を踏まえて「CVM（仮想的市場評価法）」を適用している。

雄神地区 水辺整備事業



対象範囲  : 砺波市

■ CVM（仮想市場法）による費用対効果分析

- ・ 平成27年2月にアンケートを実施
- ・ 便益集計範囲は事業箇所の近隣に位置する市町村（砺波市）の世帯を対象
 - 世帯数 : 16,220世帯
- ・ 上記のうち1,500世帯を対象に調査を実施
- ・ 回収数 695世帯（46%）
- ・ 有効回答数 280世帯（40%）

$$\text{WTP（支払意思額）} = 355\text{円/月/世帯}$$

$$\text{年平均便益額} = 69\text{百万円}$$

$$(\text{=} 355\text{円/月/世帯} \times 12\text{ヶ月} \times 16,220\text{世帯})$$

3. 事業の投資効果

- ・水系全体事業に要する費用(C)は約7.6億円、便益(B)は約15.4億円、費用便益比(B/C)は2.0となる。

■ 投資効果一覧表

項目	事業費	主な事業内容	費用(C)※	便益(B)※	費用便益比(B/C)
水系全体事業	約4.0億円		約7.6億円	約15.4億円	2.0
水辺整備事業	約4.0億円		約7.6億円	約15.4億円	2.0
雄神地区	約4.0億円	高水敷整正 通路工 パークゴルフ場造成 多目的広場造成	約7.6億円	約15.4億円	2.0

※現在価値化した金額、費用には維持管理費含む

注：費用便益比(B/C)は、便益(B)・費用(C)が四捨五入されているため計算が合わない。

4. 事業実施による環境の変化

- ・事業実施中及び事業完了後において、自然環境の変化に関する問題は認められない。

5. 事業を巡る社会情勢等

①進展する高速交通網

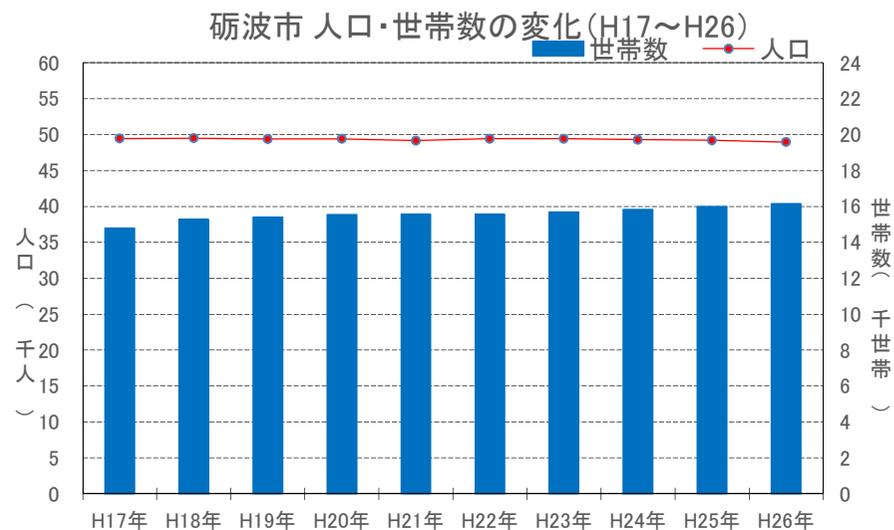
- ・北陸新幹線の開業や高岡砺波スマートIC完成に伴い、アクセスの向上が見込まれる。

北陸自動車道のほか平成20年に全線開通した東海北陸自動車道や順次整備が進められている能越自動車道が交差する拠点にあり、北陸新幹線の開業（平成27年3月）や北陸自動車道に新たに整備された高岡砺波スマートIC（平成27年3月）など、高速交通ネットワークの整備によりアクセスの向上が期待できる。



②居住人口等について

- ・便益集計範囲として設定した砺波市の人口・世帯数はほぼ横ばいであり、事業実施前後における大きな社会的変化はないものと考えられる。



出典：富山県統計データ（国勢調査、富山県人口移動調査結果）

6. 対応方針（原案）

(1) 今後の事業評価の必要性

- ・ 雄神地区水辺整備事業が完成し、地域資源としての水辺空間利用の促進が図られている。
- ・ 県内のパークゴルフの人気などから、パークゴルフ場を有する本地域における確実な整備効果が今後も期待できる。
- ・ 費用便益比（B／C）は2.0となり、投資効果も確認されており、事業実施による自然環境への影響や事業を取り巻く社会情勢に大きな変化は生じていないことから、今後の事業評価の必要性はないものと思われるが、本地域の利用状況については引き続き把握に努めるものとする。

(2) 改善措置の必要性

- ・ 庄川の雄神地区は自治体による適切な管理のもと、施設運営や定期的な維持管理が行われることから、今後も事業効果は十分に持続していくものと考えられる。
- ・ パークゴルフ大会などのイベントが開催されるなど、今後も地域の交流拠点としてより多くの人々に利用されることが期待される。
- ・ これらより、改善措置の必要はないものと考えられる。

(3) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

- ・ 同種事業の計画・調査にあたっては、自治体との十分な事業調整などにより、事業効果の向上に努める必要がある。
- ・ 当該事業に係る事業評価手法については妥当と考えられ、見直しの必要性はないものと考えられる。
- ・ 今後もCVMによる評価実績を蓄積していくとともに、評価技術の向上等を踏まえつつ必要に応じて改善を図っていく。

参 考 資 料

河川事業の事後評価 費用対効果便益算出資料

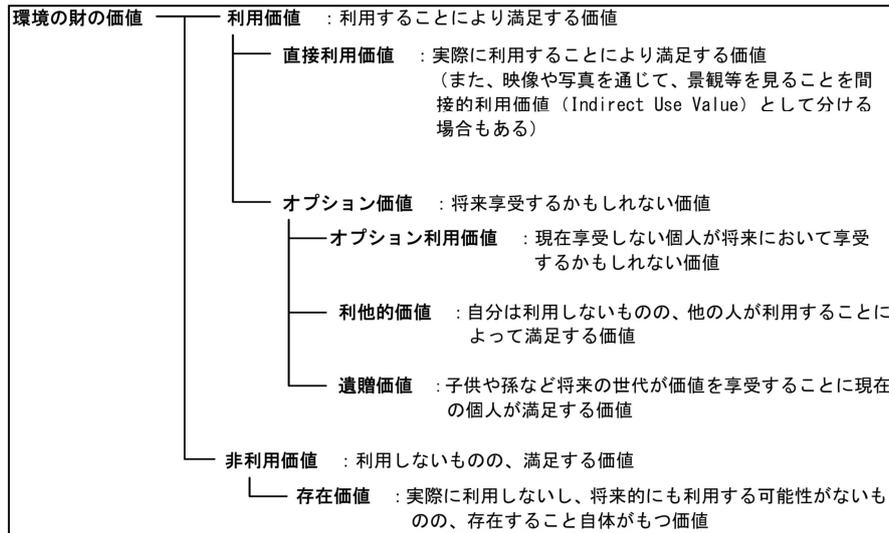
〔庄川総合水系環境整備事業〕

費用便益比分析	・・・・・・・・・・・・・・・・	P11
費用便益比の算出	・・・・・・・・・・・・・・・・	P13
CVMアンケート調査用紙	・・・・・・・・・・・・・・・・	P21

費用便益比分析

【河川環境整備事業の便益】

- ・ 環境整備の便益は、環境の財としてとらえ、この財の価値の変化がもたらす個人または家計（世帯）の効用の変化分を貨幣換算したものととしてとらえられる
- ・ 便益をもたらす環境の価値を「環境財の価値」といい、環境財の価値は、一般的に「利用価値」「非利用価値」に大別される
- ・ 利用価値とは、環境を利用することによって便益をもたらすものであり、非利用価値とは、直接にその環境を利用しない者にも便益をもたらすもので、それが存在すること自体に価値があるとされるものである



出典：河川に係る環境整備の経済評価の手引き【本編】

【分析手法の選定】

- ・ 「河川に係る環境整備の経済評価の手引き (H22.3 国土交通省河川局河川環境課)」では、以下の3手法の中から事業の特性に応じて選定することとなっており、今回は「CVM法」による便益計測を実施する

【CVM法選定理由】

- ・ 他の手法では、市場データを設定する必要があるが、適切な設定が難しい
- ・ 計測対象を比較的自由に選定できる
- ・ 利用価値と非利用価値をあわせて総合的な便益の把握が可能である
- ・ 適用実績が多く、被験者は直感的にわかりやすい

表 3.2 環境整備の便益を計測する代表的手法

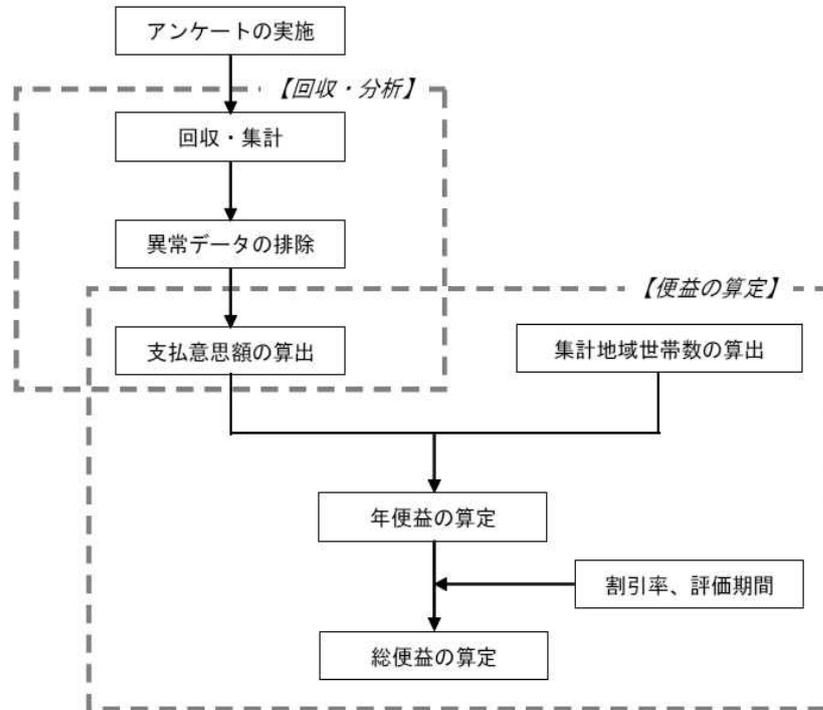
手法	概要	特徴	課題
CVM (仮想的市場 評価法)	・ アンケート等を用いて事業効果に対する住民等の支払意思額を把握し、これをもって便益を計測。	・ 事業がもたらす便益を一括計測することが可能。 ・ 計測対象に関して制約が少ない。	・ 質問方法やサンプル特性によってバイアスが生じる。
TCM (旅行費用法)	・ 対象施設等を訪れる人が支出する交通費や費やす時間の機会費用を求め、これをもって便益を計測。	・ 基本的に客観データを用いる方法で恣意性が少ない。	・ 複数の目的地を有する旅行者や長期滞在者の扱いが困難。 ・ データの入手が困難な場合がある。 ・ 非利用価値は評価困難。
代替法	・ 評価対象とする事業と同様な便益をもたらす他の市場財で代替する場合に必要な費用で当該事業のもたらす便益を計測。	・ 直感的に理解しやすい。 ・ データ収集が比較的容易。	・ 経済理論的裏付けが希薄。 ・ 適切な代替財が想定できない場合は評価できない。

出典：河川に係る環境整備の経済評価の手引き【本編】

費用便益比分析

【CVM（仮想市場法）】

- ・ CVMによる費用対効果分析では、便益のおよぶ範囲を対象に行ったアンケート調査を基に、対価として支払っても良い金額（WTP：支払意思額）を求め、支払意思額と調査範囲内の世帯数との積により便益を算出する



[アンケート調査の概要]

	項目	設定内容
アンケート票の作成	支払い形態	・ 河川環境に関する便益推計で多く用いられる負担金を採用
	支払い方法	・ 回答者が月給などの月額換算される家計の項目と比較し易い月払いと、年収など年額換算される項目で比較し易い年払いの両方を記載
	支払い意思額の設問方法	・ 分析に必要なサンプル数が相対的に少なく済むこと、他回答方式に比べ、高い提示額での賛成率が低い傾向にあることから多段階二項選択方式を採用
	支払い意思額の判断理由	・ 設問と回答の意図の相違によるバイアスを排除するため、負担金に賛同する、又は賛同しないと判断した理由を問う目的とした設問を設定

■庄川総合水系環境整備事業

【概要】

水系・河川名	庄川水系庄川
事業名	庄川総合水系環境整備事業
事業主体	北陸地方整備局
関係自治体	砺波市
事業期間	2008年度～2014年度（平成20年度～平成26年度）
基準（評価）年度	2015年度（平成27年度）

【費用】

	事業費	維持管理費	合計
単純合計 （実質価格）	414百万円	615百万円	1,029百万円
基準年における現在価値合計 （C）	489百万円	275百万円	764百万円

【便益】

	便益
供用年度	2015年度（平成27年度）
供用年度の単年度便益（実質価格）	69百万円
残存価値	0百万円
基準年における現在価値合計（B）	1,544百万円

【費用便益分析結果】

費用便益比（B/C）	2.0
純現在価値（NPV）	780百万円
経済的内部収益率（EIRR）	9.9%

【感度分析結果】

項目	全事業	残事業
基準値	2.0	—
便 益 -10 ~ +10%	1.8 ~ 2.2	—

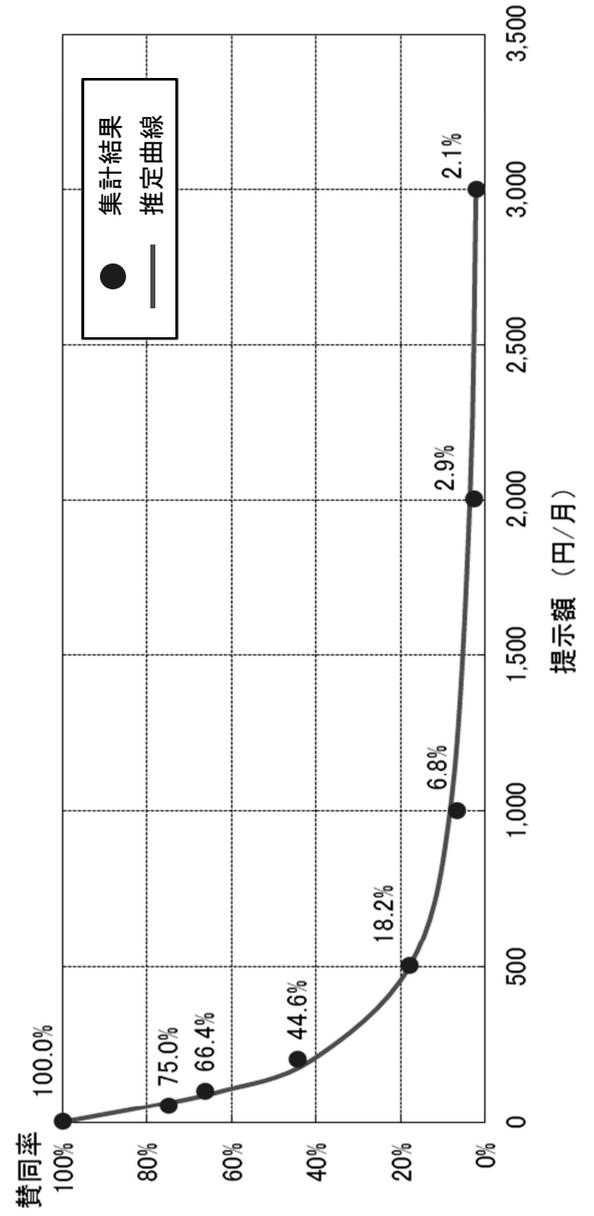
【WTP 様式】庄川水系庄川 庄川（雄神）水辺整備事業 支払意思額の算定

月当たりの1世帯当たりの負担金提示額	該当者数	割合	累積該当者数	累加割合 (実測費同率)	パラメトリック 実測費同率
0円(0～50円未満)	70	25.0%	280	100.0%	100.0%
50円(50～100円未満)	24	8.6%	210	75.0%	80.1%
100円(100円～300円未満)	61	21.8%	186	66.4%	62.6%
200円(200円～500円未満)	74	26.4%	125	44.6%	41.1%
500円(500円～1000円未満)	32	11.4%	51	18.2%	18.0%
1,000円(1000円～2000円未満)	11	3.9%	19	6.8%	8.4%
2,000円(2000円～3000円未満)	2	0.7%	8	2.9%	3.7%
3,000円(3000円以上)	6	2.1%	6	2.1%	2.2%
合計	280	100.0%			

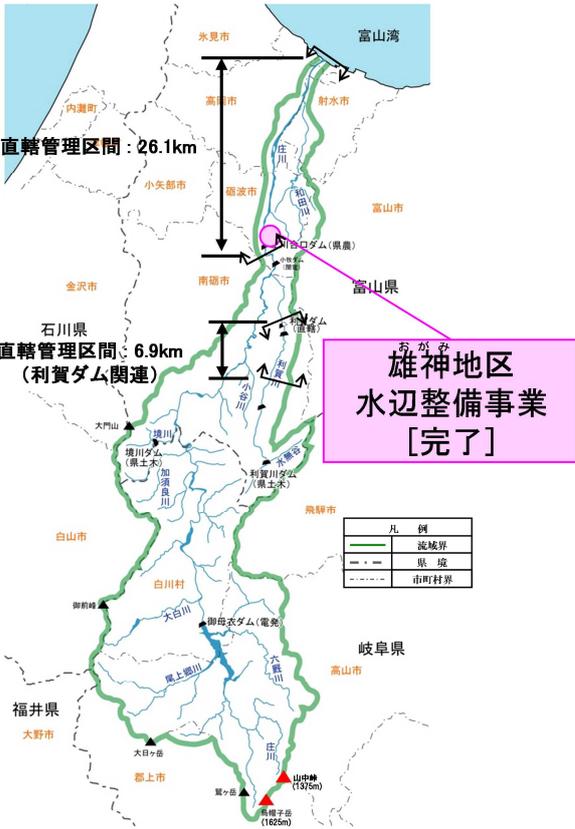
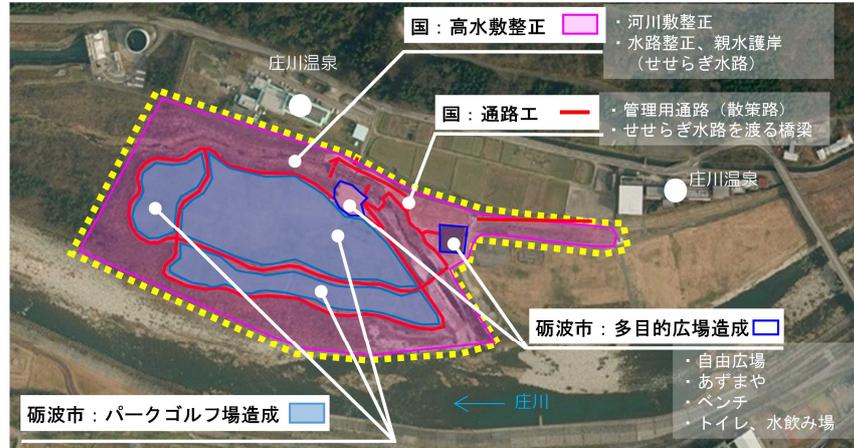
配布数	1,500票
総回答数	695票
有効回答数	280票
有効回答率	40.3%

支払い意思額(WTP)の算定結果

代表値	WTP算定結果
平均値	355 (円/月/世帯)
(最大提示額で裾切り)	



【算出説明書】

<p>事業概要</p>	
<p>事業目的</p>	<p>砺波市は、庄川とともに歴史を刻み、庄川と深く結びついて発展してきた。現在では、庄川（庄川峡）が観光資源として成立し、近接して各種スポーツ施設や公園・緑地が配置され、多くの住民・観光客が訪れるなど日常的に利用される水辺となっている。</p> <p>これらの施設の中核をなす空間として雄神地区の水辺空間を整備することにより、既存施設と有機的に結びつけ観光や地域の活性化を図るものである。</p>
<p>事業内容 (事業箇所図)</p>	<p><整備内容></p> <p>国土交通省（環境整備事業）：高水敷整正、通路工</p> <p>砺波市：パークゴルフ場造成、多目的広場造成</p>  

費用便益比の算定根拠		
便益	評価手法	CVM（平成 27 年 2 月にアンケート実施）
	便益計測期間	平成 27 年度～平成 76 年度（2015 年度～2064 年度） （事業完了から 50 年）
	総便益	○年平均便益額=69 百万円（=355 円/月/世帯×12 ヶ月×16,220 世帯）
		○残存価値=0.0 百万円
		総便益 B = \sum 単年度便益額 / (1+0.04) ⁿ + 残存価値 = 1,544 百万円
	評価範囲 （評価範囲図）	○便益範囲：砺波市
		○世帯数：16,220 世帯（H27.4 時点・砺波市住民基本台帳に基づく世帯数）
		○配布回収方法：郵送
		○アンケート票数：1,500 票配布 回収数 695 票（回収率 46%）、有効回答数 280 票（有効回答率 40%）
		○OWTP：355 円/月/世帯
評価範囲図		
費用	事業費	404 百万円 （国：162 百万円（平成 21 年度～平成 22 年度）、砺波市：242 百万円（平成 20 年度～平成 26 年度））
	維持管理費	615 百万円 （国：建設費の 0.5%、市：芝生・トイレ維持管理、水道供用料、施設移設費、修繕費）
	総費用	○総費用 C = (建設費 + \sum 年間維持管理費) / (1+0.04) ⁿ = 764 百万円
費用便益比 (B/C)		2.0
その他留意点等		

事業費の内訳書

河川事業

事業名	庄川総合水系環境整備事業（全体事業費）
-----	---------------------

評価年度	平成 27 年度	事後評価
------	----------	------

区分	費目	工種	単位	数量	金額（百万円）	備考	
工事費	本工事費		式	1	108.1		
			式	1	108.1		
		高水敷整正	式	1	56.1		
		通路工	式	1	52.0		
間接経費			式	1	22.0		
工事諸費			式	1	31.9		
砺波市事業費			式	1	241.7		
事業費計			式	1	403.7		

維持管理費			式	1	615.0	
-------	--	--	---	---	-------	--

※1 事業費については、事業の執行状況を踏まえて再評価毎に適宜見直すこと。

※2 「工種」及び「金額」については、原則、治水経済調査マニュアル（案）に準拠して記載すること。

※3 上記によらないものについては、過去の類似の実績等に基づき記載すること。

※4 備考欄に、一式計上している工種の内容等を記載すること。

おがみ
庄川(雄神地区)の環境整備事業に関するアンケートのお願い



平成27年2月

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所

日頃より国土交通行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

富山河川国道事務所では、庄川・雄神地区で実施した環境整備事業について、今後の事業に役立てるためのアンケートを実施させていただくことになりました。

アンケートは、庄川・雄神地区で実施した環境整備事業の効果を評価するために実施するもので、庄川・雄神地区周辺の地域にお住まいの方を対象にアンケートへのご回答をお願いしております。

アンケートの信頼性を高めるため、より多くの皆様のご回答を必要としています。大変お手数をおかけいたしますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

ご回答にあたって

- ・アンケートは、あなたのご家庭の世帯主、またはそれに準じる方(配偶者など)がご回答下さい。
- ・ご記入いただいた内容は全て統計的に処理され、個々の回答が公表されることは一切ありません。また、本調査の目的以外に使用されることも決してございません。
- ・回答用紙のみを同封の返信用封筒に入れて、**2月25日(水)まで**にご投函下さい。(切手は必要ありません)
- ・返信用封筒には、ご住所、お名前のご記入は必要ございません。

アンケート調査についてのお問い合わせ

本アンケート調査についてのご不明な点は、下記担当者までお問い合わせ下さい。

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 河川環境課 担当：泉、河原

電話：076-443-4701 (代表)

076-443-4719 (直通) FAX：076-443-4738

(電話は土・日・祝日を除く 8:30~17:15)

庄川・雄神地区の環境整備に関するアンケート

＜以下の質問をよくお読みになり、ご回答下さい＞

問1 あなたの性別、年齢等をおたずねします。

(1) あなたの性別の番号を○で囲んで下さい。

1) 男性 2) 女性

(2) あなたの年齢について、あてはまる番号を○で囲んで下さい。

1) 10代 2) 20代 3) 30代 4) 40代 5) 50代 6) 60代 7) 70代以上

(3) あなたのご住所の郵便番号をご記入下さい。

-

※地区毎の回答数を集計するために使用します。

(4) ご職業について、あてはまる番号を1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

1) 会社員、公務員等 2) 自営業
 3) パート・アルバイト 4) 無職
 5) 学生 6) その他 ()

(5) ご家族の人数についてお聞かせ下さい。

ここで、ご家族の人数は回答者ご本人を含め、同居し、生計を同じくする方全員の人数です。

ご家族全員の人数 []人

問2 あなたは、庄川・雄神地区において「事業説明資料」に示したような整備が行われたことをご存知でしたか。あてはまる番号を1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

1) 知っていた
 2) 庄川は知っていたが、事業が行われたことは知らなかった
 3) 知らなかった

問3

(1) あなたは庄川を訪れたことがありますか？番号を○で囲んで下さい（通勤・通学路等として通過したものは含みません）。

1) ある 2) ない

(2) 問3(1)で「ある」と回答された方におたずねします。あなたは庄川をどのくらい訪れていますか？ 枠のあてはまる番号を1つ選んで下さい。1)～3)を選んで方は 枠に概ねの回数を記入して下さい。

1) 年 2) 月 3) 週 4) 1年に1回未満 に 回くらい

問4 あなたのお宅から庄川・雄神地区までの所要時間はおよそどのくらいですか。 枠のあてはまる番号を1つ選んで下さい。 枠には概ねの所要時間を分単位で入力して下さい。

家から庄川・雄神地区までの所要時間は、

1) 車 2) 電車 3) 自転車 4) 徒歩 で 分くらい

ここからは、**仮定の質問**です。説明をよくお読みになった上でお答え下さい。

事業説明資料に示したような事業は、実際は税金によって実施されていますが、**仮に「事業が税金ではなく、各世帯から負担金を集めて行われる、というような仕組みがあったとしたら」という状況を想像して下さい。**

■各世帯から負担金を集めて事業を実施するしくみ	
<p>【事業を実施する場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業説明資料の事業が実施され、庄川でスポーツやピクニックを楽しむことができます。利用しやすくなります。 	<p>【事業を実施しない場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業説明資料の事業は実施されず、庄川は利用しにくい状況のままです。 
<p>●あなたの世帯からの負担金が必要です。</p> 	<p>●あなたの世帯の負担金はありません。</p> 

《以下の内容にご注意下さい》

- ・上に示した仕組みは、事業効果を金額に置き換えて評価するアンケート分析手法上の**仮定の話**であり、**実際にこのような仕組みが考えられているわけではありません。**また、この回答をもとに、**実際に負担金を徴収することは一切ありません。**
- ・負担金は、この整備のみに使用されると仮定します。
- ・事業を実施する場合の負担金は、将来にわたって維持・管理していく費用にも充てるため、あなたが現在の地域にお住まいの間、ずっとお支払いいただくものと仮定します。

問5 1)～7)に事業を実施する場合の負担金の額を具体的に示しますので、あなたは次の1)～7) **全ての質問について**、事業説明資料の事業を「実施した方がよい」か「実施しない方がよい」の**どちらかを〇で囲んで下さい。**

- もし、あなたの世帯の負担が毎月50円（年間あたり600円）だったら
 A. 実施した方がよい B. 実施しない方がよい
- もし、あなたの世帯の負担が毎月100円（年間あたり1,200円）だったら
 A. 実施した方がよい B. 実施しない方がよい
- もし、あなたの世帯の負担が毎月200円（年間あたり2,400円）だったら
 A. 実施した方がよい B. 実施しない方がよい
- もし、あなたの世帯の負担が毎月500円（年間あたり6,000円）だったら
 A. 実施した方がよい B. 実施しない方がよい
- もし、あなたの世帯の負担が毎月1,000円（年間あたり12,000円）だったら
 A. 実施した方がよい B. 実施しない方がよい
- もし、あなたの世帯の負担が毎月2,000円（年間あたり24,000円）だったら
 A. 実施した方がよい B. 実施しない方がよい
- もし、あなたの世帯の負担が毎月3,000円（年間あたり36,000円）だったら
 A. 実施した方がよい B. 実施しない方がよい

全ての質問にご回答下さい

